

宮城大学 後援会報

Vol.41

発行
平成25年7月31日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL 022 (377) 8381

編集
宮城大学後援会事務局

保護者の集い改め「MYUサポーターズデー」開催

大学・会員相互の理解を深める

今年度初めての主催事業となる「保護者の集い」が、「MYUサポーターズデー」に名称を改め、6月1日(土)に大和キャンパスで、8日(土)に太白キャンパスでそれぞれ開催されました。3学部合わせて、二百人を超える会員に参加していただきました。

「サポーターズデー」当日は、それぞれの学部ごとに、学部紹介や模擬講義、最近の就職活動等に関する説明、参加者との意見交換が行われました。また、キャンパスレンジャー(学生団体)や教員の案内による「キャンパスツアー」も行われ、キャンパス内の施設等が紹介されました。最後に行った懇談会(ティーパーティー)では、終了時間が過ぎても懇談が途切れず、太白キャンパスでは「アップルポーク」や「米粉入り牛タンかまぼこ」など実



食産業学部=6月9日、多目的ホール

習の成果の試食も行われ、参加者と教員が美味しく楽しく歓談し、盛況のうちに終了する



事業構想学部=6月1日、400講義室



看護学部=6月1日、302講義室



米粉入り牛タンかまぼこの試食が並べられ(左)和やかに歓談する参加者=6月9日懇談会場(太白カフェテリア)

ことができました。

この事業は、大学との共催により、会員の意見を大学の教育事業や後援会の支援事業等に反映させていくことなどを目的に実施しているもので、今回で4回目の開催となりました。アンケートの結果では、ほとんどの参加者から、有意義な内容であったとの感想や来年も継続してほしいなどの要望が寄せられています。大学の理解を深めていただく貴重な機会であることから、これからも内容の充実を図りながら「MYUサポーターズデー」を開催してまいります。より多くの会員の皆さまの参加をお待ちします。

(後援会会計書記 八島英明)

平成25年度「MYUサポーターズデー」実施概要

【大和キャンパス】

日時 平成25年6月1日(土)
13時~16時30分

主な内容

【看護学部】:52名参加
模擬講義「Introduction to Nursing」
—看護の本質— (高橋方子教授)

意見交換会、キャンパスツアー

【事業構想学部】:83名参加

公開講義「森の学校が地域を変える
~真の創造的復興を目指して」(風見正三教授)

意見交換会、キャンパスツアー
・看護学部・事業構想学部合同懇談会

【太白キャンパス】

日時 平成25年6月8日(土)
13時~16時

主な内容

【食産業学部】:70名参加
模擬講義「地球温暖化・気候変動の話」
(原田鉦一郎准教授)

意見交換会、キャンパスツアー
・懇談会

後援会設立15年

活動のあゆみをまとめ

「息吹Ⅱ」を発刊



宮城大学後援会は平成10年4月発足以来15年を迎えました。10年目の平成20年3月にそれまでの活動をまとめた記念誌「息吹」を発刊しています。それからさらに5年を経た平成25年3月、5年間の軌跡をたどった「息吹Ⅱ」を発刊しました。

「息吹Ⅱ」では、後援会の事業はもちろんですが、宮城に未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」を忘れてはならない出来事として特集し、記録にとどめました。また大学の設置者である村井嘉浩宮城県知事から大学について貴重なお話しを伺っています。そのほか所々に配している「Voice」に、これまで宮城大にかかわってきた方から寄せられた思いを掲載しました。歴史の積み重ねを感じていただければと考えております。そして、西垣学長に宮城大の目指す将来像について御寄稿いただき、未来へ繋がる最終章を締めくくっていただきました。

本誌は、平成23年12月に編集委員会を発足させ、多くの方の協力を得て完成しました。充実した学生への支援を考えるための新たな礎となるようお願いを込めました。

記事一覧

- 2面…後援会長あいさつ、主催事業「講演会」、事業計画・予算、事業報告・決算
- 3面…学長あいさつ、H25年度入学式、H25年度入学選抜試験実施状況
- 4面…コラム、「大学は美味しい」フェア、「医療研究セミナー」

- 5面…H24年度卒業生進路状況
- 6面…新入生交流会、「絆」
- 7面…大学祭、H25年行事予定

- 8面…「教員からの一言」、保健室・学生相談室 地域連携センター案内

後援会主催事業

10月14日(月)、「講演会」を開催します

講師に白幡洋一氏
ベガルタ仙台社長

後援会では、プロサッカーチーム、ベガルタ仙台社長 白幡洋一氏を講師に迎え「講演会」を開催します。

白幡氏は東北リコー(株)の社長、会長を経て2008年10月、(株)ベガルタ仙台の代取締役社長に就任しました。現在、ほかにも(財)みやぎ産業振興機構、(社)みやぎ工業会、NPO法人仙南広域工業会で重責を担うなど、東北の経済発展のため多方面で活躍されています。

演題は「『する・観る・支える、そして語る!』～スポーツは地域を変える起爆剤?～」

昨年、ベガルタは日本プロサッカーリーグ1部で最後まで優勝をかけた戦いを繰り広げ、地元仙台を沸かせました。白幡氏の経営者としての経験談や、サッカーを通して、スポーツ文化の振興にかけ

る想いなどをお話いただけます。ぜひお聴きください。



平成25年度後援会総会開く

新会長に中村美奈氏

平成25年度総会が4月3日、宮城大学大和キャンパス大講義室で行われました。平成24年度の事業報告・決算報告に続き、平成25年度の事業計画・予算についての審議が行われ、議案は全て原案通り承認されました。引き続き行われた役員を選出では、中村美奈氏が女性では初となる新会長に就任し、新体制での活動がスタートしました。

学生ひとりひとりが安心して学べる
環境作りをサポート



後援会長 中村 美奈

子供が大学に入り、未曾有の大震災を経験し、あの時の1年生が今は4年生になりました。

宮城が全国、世界から注目を集める中、宮城大学が被災地だけでなく、地域社会へ貢献活動するニュースにふれる度、大学が成せる力は大きいと感じてまいりました。

先の6月、両キャンパスで開催された「MYUポーターズデイ」で、多くの会員の皆さまから、大学への期待、ご子女への思いをうかがい、今後の課題とさせていただきます。

今、宮城大学は、西垣学長を中心にさらに地域に根付く盤石な大学となる体制作りを展開しています。全国的にみる就職率の高さ、ユニークあふれる学部は、県民や地域社会から教育力、人材育成力において期待が寄せられています。

後援会は、学生生活の支援、大学の発展に寄与することを目的に設立され、主な事業として、学生会やサークル活動・大学祭への助成、就職支援、学業・サークル活動報奨金支給、入学・卒業記念事業など学生の支援事業の他、自主事業として後援会報の発行、講演会及び保護者の集い(MYUサポーターズデイ)などの開催を行って参りました。

今後も会員の皆さまの大切なご子女ひとりひとりが安心して勉学に夢に希望にとかけていくことができることを願い、学生生活をサポートし、親ごころの事業を運営して参ります。

平成25年度
後援会役員

1年間どうぞよろしく
お願いします。

役職名	氏名(敬称略)
会長	中村 美奈
副会長	菊地 正
〃	和田 達雄
〃	渡辺 久徳
理事	青木 成徳
〃	伊東 淑恵
〃	遠藤 明美
〃	沖野 佳秀
〃	角田 秀晴
〃	加藤 幹夫
〃	熊澤 孝雄
〃	佐藤 和利
〃	下山 晴朗
〃	白鳥 克美
〃	高野 匡
〃	千葉 晶子
〃	松澤 晶子
監事	阿部 孝一
〃	鈴木 千恵子
〃	千葉 清純

平成25年度事業計画

内容	内容
総会	4月3日
理事会	年6回
特別委員会	学生代表との意見交換会2回(キャンパス毎) 会長副会長会議1回
各種助成	学生会(執行部、新入生歓迎会、出版、サークル(35団体)、大学祭、ガーデンキャンパス)
支援事業	資格取得奨励金支給 体育・文化活動に対する奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ記念品(校章ピンバッジ)配布
卒業記念事業	卒業生(学部生)への記念品 大学への記念品 卒業記念パーティ助成
主催事業	講演会 保護者の集い
会報発行	第41・42号

平成24年度事業報告

内容	内容
総会	5月2日
理事会	年6回
特別委員会	会長副会長会議 4回 学生代表との意見交換会2回(各キャンパス毎) 「息吹II」編集委員会14回 サークル助成検討委員会2回
各種助成	学生会(執行部、新入生歓迎会、出版、サークル(46団体)、大学祭、ガーデンキャンパス)
支援事業	資格取得奨励金支給 第1回、第2回宮城大学事業奨励学部、食産業学部合同企業説明会助成 看護国家試験対策費用助成 事業奨励学部、食産業学部PC-CAP(自己分析等診断)実施費用助成 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ記念品(校章ピンバッジ)配布
卒業記念事業	卒業生(学部生)への記念品(訂正印付き印鑑) 大学への記念品 大和・電子レンジ4台(設置台付き) 及白・テールベンチセット4組、ネット ミスタークイック1基
主催事業	生島ヒロシ講演会 宮城大学と保護者の集い
会報発行	第38・39・40号
記録誌発行	後援会15年のあゆみ「息吹II」発行

平成25年度一般会計予算

項目	予算額	備考
収入		
会費	17,860,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	
寄付金	0	
繰越金	3,948,528	
他会計繰入金	0	
計	21,808,528	
支出		
事務費	2,346,000	人件費、通信費等
会議費	385,000	理事会・特別委員会経費
事業費	14,320,000	サークル助成等
入学記念事業費	396,000	入学記念品(校章ピンバッジ)
卒業記念積立金	2,200,000	卒業生記念品
記念事業等積立金	2,000,000	
予備費	161,528	
計	21,808,528	

平成24年度一般会計決算

項目	決算額	備考
収入		
会費	18,580,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	
寄付金	0	
繰越金	2,676,946	
他会計繰入金	0	
計	21,256,946	
支出		
事務費	2,365,722	人件費、通信費等
会議費	425,140	理事会費用弁償費等
事業費	11,862,536	大学祭、サークル助成等
入学記念事業費	370,020	校章ピンバッジ配布
卒業記念積立金	2,285,000	卒業生記念品
記念事業等積立金	0	
震災対策費	0	
予備費	0	
計	17,308,418	

平成25年度特別会計予算

(卒業記念事業積立金)		
項目	予算額	備考
収入		
積立金	2,200,000	入学生440人x5,000円
繰越金	7,690,284	
計	9,890,284	
支出		
事業費	2,322,000	大学、学生への記念品
卒業記念事業積立金	7,568,284	
一般会計繰出し金	0	
予備費	0	
計	9,890,284	
(記念事業等積立金)		
項目	予算額	備考
収入		
積立金	2,000,000	
繰越金	6,749,401	
計	8,749,401	
支出		
事業費	2,877,540	15年のあゆみ「息吹II」作成
記念事業等積立金	5,871,861	
予備費	0	
計	8,749,401	

平成24年度特別会計決算

(卒業記念事業積立金)		
項目	決算額	備考
収入		
積立金	2,285,000	入学生457人x5,000円
繰越金	7,577,644	
計	9,862,644	
支出		
事業費	2,172,360	大学への記念品、学生への記念品
卒業記念事業積立金	7,690,284	
一般会計繰出し金	0	
計	9,862,644	
(記念事業等積立金)		
項目	決算額	備考
収入		
積立金	0	
雑収入	0	
繰越金	6,871,861	
計	6,871,861	
支出		
事業費	122,640	15年のあゆみ「息吹II」作成
記念事業等積立金	6,749,401	
計	6,871,861	

521人が晴れて宮城大生の仲間入り



新入生を代表して誓いの言葉を述べる長谷川由紀さん

恵みの雨に新芽の鮮やかさが生えわたる
4月3日、第17回宮城大学入学式が大和
キャンパス講堂で行われました。

この日入学したのは、編入生を含む看護
学部107人、事業構想学部213人、
食産業学部143人の学部生463人
と、大学院生58人の、合わせて521人で
す。

西垣克学長は式辞で「大学における教
育課程は、教わることにあるのではなく、学
んで行くことに主力がおかれています。これ
からの大学生活の中で、もっとも学んでほし
い事柄は『生きることを学ぶ』ということだ
す。生きる事の根源が失われているこの時

代に、なんとしても生き残っていく気概を
持つて、人生を送っていただきたい」と述べ、新
入生を歓迎しました。

学部生を代表して食産業学部ファームビ
ジネス学科 長谷川由紀さんは「私たち新
入生は勉学に励み、大学の理念である『ホ
スピタリティ精神とアメニティ感覚』を磨
き、新しい取り組みに挑戦し、社会に貢献
できる人材となるよう努力を惜しまぬこ
とを誓います」と力強く宣誓しました。

式には村井嘉浩宮城県知事を始め、多
くの来賓、保護者、教職員が出席し、晴れ
て宮城大生となった新入生を、祝福しまし
た。



平成25年度宮城大学入学式=4月3日、大和キャンパス講堂

—新年度、大学の取り組み—



存在価値のある
大学創設に努力

学長 西垣 克

例年と異なり気仙沼高校でのセン
ター入試の実施から、入試の度に空を
見上げ、大雪にならないように祈るばかり
で春を迎えました。入学式は多くの来賓のご臨席をいただき盛会
に終えることができました。新入生の皆さん方には、早く大学での勉
学に慣れて充実したキャンパスライフを過ごしてもらうために本年か
ら新しい事業を開始いたしました。最初に行ったのは、新入生全員
を対象にした蔵王町でのオリエンテーション合宿でした。

今年は準備の関係で連休前の実施になり、一部の学生が参加
できませんでした。多くの新入生とサポート役の先輩学生、教職
員が参加しました。蔵王町長さんとホテルの皆さんの歓迎を受け、
町内の産業施設や福祉施設の見学、役場に勤務する先輩方との
交流などを実施し、一泊二日の日程を無事終了いたしました。

ホテルでは「ビブリオ・バトル」という愛読書の推薦コンテストを大広
間で展開し、小雪の降る中、烏帽子岳登山を経験し、当初考えて
いた以上に学生の交流や宮城大学生としての連帯感が生まれた
ように思います。孤立しないで人生のよき友と出会うキャンパスづくり
を今後も積極的に展開していきたいと考えています。

近年高校での学力低下が著しく、大学教育を展開する上で、共
通の悩みになっています。昨年からのトライアルを行ってきましたが、こ
の春から仙台南高校校長を退任された小野先生を特任教授と
してお迎えし、リメディアル教育センターをスタートさせました。本年は
主に数学と英語を中心にして、受験数学から人生に数学の智慧を
活用できる学習の復習とTOEICの高点数化に取り組んでいます。

本年の卒業生も順調に就職が決まり、社会で囑望された活躍を
始めています。就職先からの宮城大学への信頼をより確たるもの
にする教育を充実させるべく、東京藝術大学を退官された高山先生
を教育担当理事兼(仮称)人間形成・鍛錬センター(現共通教育セ
ンター)長にお迎えし、新たに教養教育の改革を実施し、人間力
のある人材養成に取り組んでいます。

いかなる社会環境においても、存在価値のある大学を創設する
ための努力をこれからも続けていきます。後援会におかれましても、
従前以上のご支援と貴会のみますますのご発展を祈念してご挨拶と
いたします。

平成25年度 宮城大学入学者選抜試験実施状況

学部・学科・(種別)	募集 人員	実質 競争 倍率	入学 者数	入学者詳細				
				性別		出身地		
				男	女	県内	県外	
看護	看護学科	100	3.3	107	8	99	74	33
事業	事業計画学科	100	3.3	106	39	67	83	23
	デザイン情報学科	100	2.7	107	42	65	73	34
食産	ファームビジネス	42	3.3	47	16	31	20	27
	フードビジネス	52	4.0	59	17	42	22	37
	環境システム	31	3.1	37	19	18	23	14
合計		425	3.2	463	141	322	295	168

※出身地は、卒業高校等所在地で分類(大検は県外に分類)

平成25年度 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

学部・学科	募集 人員	実質 競争 倍率	入学 者数	入学者詳細			
				性別		出身地	
				男	女	県内	県外
看護学研究科博士前期	10	1.1	10(1)	1	9	5	5
看護学研究科博士後期	3	1.3	4(1)	0	4	3	1
事業構想学研究科博士前期	20	1.0	24(18)	16	8	22	2
事業構想学研究科博士後期	3	1.0	4(0)	4	0	0	4
食産業学研究科博士前期	13	1.0	12(8)	8	4	11	1
食産業学研究科博士後期	3	1.0	4(3)	3	1	4	0
合計	52	1.0	58(31)	32	26	45	13

※()内の数字は宮城大学からの進学者

「大学は美味しい」フェア 食産業学部2年目の挑戦!

全国の食に取り組む大学が集い、研究室から生まれた地元の名産・自慢の食材を使った食品などを紹介するイベント、第6回「大学は美味しい」フェアが5月29日から6月4日まで、新宿高島屋11階で開催されました。昨年に引き続き参加した食産業学部の挑戦をご紹介します。

米粉の美味しい成果を披露

食産業学部教授 大久長範



メディアの取材を受ける食産の「お店」=新宿高島屋11階

「実は牛タン蒲鉾があります。これに宮城の米粉を加えたらどうでしょうか。最強の組合せになりませんか」と橋本蒲鉾店の松本社長。「米粉はひとめぼれですが、酒米ですか。添加量と歯ごたえの関係を調べましょう」。こんな

風にして「米粉入り牛タン蒲鉾」ができました。四季菜さんとは米粉入りのマカロンを開発しました。「低アミロース米」の米粉をメレンゲに加え焼き菓子にしたものです。コーヒの友にぜひどうぞ。

昨年売上第3位でしたが、今年は参加35校中で6位にとどまりました。原因は3つあります。

製造と販売が上手く結合していなかったこと。みたらしプリンが高島屋さんの冷蔵庫で行方不明になったこと。そして、授業や予算の関係で学生が参加できなかったこと。でも宮城大の卒業生や横浜の知人が駆けつけ、応援してくれました。販売は二の次にして宮城県にご縁のある多くの方々と親しくお話することができました。来年度も継続したいですね。



3・4年生対象に医療機関研究セミナー

県内外から49の医療機関招く

看護学部では、6月12日、大和キャンパス体育館で、「医療機関研究セミナー」を開催しました。今年で8回目となるセミナーは、学生が多くの医療機関の特色や情報を直接収集し、将来のキャリアプランなどに生かすことを目的に実施しています。

当日は県内外から49医療機関の参加協力を得て、約160人の学生が参加しました。参加した学生は担当者の説明を熱心に聴きながら、

事前に研究してきた内容や、疑問に思ったことなどを積極的に質問していました。参加医療機関には、担当者として本学OB・OGの参加も多く、現場の様子や実際に働いた感想など、学生の質問に対し先輩として親身に受け答えしていただきました。

このセミナーは、学生にとって将来を見据える大変有意義な機会となつていきます。



▲ 担当者の説明に熱心に耳を傾ける学生

コラム

親と子どもと学校と

(親としての)はじめての学校

看護学部准教授 山岸 利次

宮城大学後援会の皆さま、はじめまして、看護学部の山岸利次です。看護学部には養護教諭1種免許状を取得できる教職課程が設置されているのですが、私はそこで教育学関連の科目を担当しております。

さて、私事で恐縮ですが、息子が今年小学校に入学しました。毎日、元気に「行ってきます」と言いながら登校する姿を見たり(いや、正確には私は遅くまで仕事をしているのでたいていはふとんの中で声を聞くだけです)、また帰宅後にうれしそうに話す学校の様子を聞くにつけ、息子が学校で何とかうまくやっているのだと安心しています。しかし、学校に入学してからしばらくの間は「学校に適應できているか」「友人関係はどうか」といったように(自分の専門のゆえでしょうか)大いに不安でした。

こうした不安を払拭するきっかけの一つが授業参観でした。参観日に学校へ行き、息子がどのように学校で過ごしているか、また、先生は

どのような人なのか、学校の雰囲気はどうか、こうしたことを実際に見て・聞いて・感じることで、なんというか親としてようやく一息つけたという思いがありました。このときにはじめて、学校に行く、そこで子どもの姿を見ろということは親にとって非常に重要なことだと実感を持って理解したと思います(もっとも、私は先日行われた運動会は学会参加のために欠席しました。教育学研究をおこなうためにわが子の教育の一大イベントを欠席するという笑うに笑えない状況に陥りました)。

大学には参観日のような行事はありませんが、後援会が主催する「MYUサポーターズデイ」やオープンキャンパス等、ご子女や大学の様子がわかる機会がございます。また、そもそも大学は(保護者の皆さまだけでなく)地域に開かれていることを旨とする教育機関です。ぜひ、一度足をお運びください。

(やまぎしとしつぐ)

1973年生まれ。埼玉県出身。東京大学教育学部卒業。同大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学(教育学修士)。2009年4月、宮城大学看護学部准教授に着任、現在に至る。専門は西洋教育史・教育法学。「歴史とは歴史家と事実との間の相互作用の不断の過程であり、現在と過去との間の尽きることを知らぬ対話である」(E・H・カー)をモットーに、歴史的視点から現代の教育問題について考えることを生業としている。



平成24年度卒業生

就職率、全国平均を大きく上回る

平成24年度は経済の先行きに不透明感が残り、良好とは言えない就職環境でしたが、学生、教職員が丸となって取り組んだ結果、卒業生の就職率は全学平均で97.6%となり、大卒の全国平均就職率である93.9%を大きく上回りました。また、地元の企業、病院などへ多くの学生が進み、地域とともに歩む大学として、期待にこたえる結果となりました。

看護学部では、充実した教育プログラム、国家試験対策などの提供に努め、平成20年度から5年連続して就職率100%を達成しました。事業構想学部の就職率も95.1%となり、引き続き高い水準を維持しました。金融機関や大手企業への就職が増加する一方で、専門性を生かした就職も進んでいます。食産業界でも、昨年同様、ファームビジネス、フードビジネス、環境システムのいずれの学科も高い就職率を示し、学部全体の就職率は99.1%となりました。

一連の就職活動、企業とのコンタクトの密接化などを通じ、本学に対する企業からの信頼感、評価がいつそう高まってきていると感じています。皆様方の引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

(キャリア開発センター長 田邊信之)

平成24年度卒業生の進路状況

学部	学科	コース	就職			大学院等進学			未内定者			平成24年度卒業生		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
看護学部	看護学科		9	84	93	1	5	6	0	0	0	10	89	99
事業構想学部	事業計画学科		34	46	80	7	2	9	2	1	3	43	49	92
		情報システム	13	1	14	1	1	2	0	0	0	14	2	16
		空間デザイン	10	14	24	6	2	8	0	3	3	16	19	35
		デザイン情報	12	25	37	5	2	7	1	1	2	18	28	46
	学科小計	35	40	75	12	5	17	1	4	5	48	49	97	
	学部小計	69	86	155	19	7	26	3	5	8	91	98	189	
食産業界学部	ファームビジネス		17	22	39	4	1	5	0	0	0	21	23	44
		フードビジネス	13	36	49	1	3	4	0	1	1	14	40	54
		環境システム	17	9	26	6	3	9	0	0	0	23	12	35
	学部小計	47	67	114	11	7	18	0	1	1	58	75	133	
全体計		125	237	362	31	19	50	3	6	9	159	262	421	

卒業生の進路

看護学部

看護師 84%
進学 6%
保健師 5%
養護教諭 2%
その他の業種 3%

看護学科

○主な就職先
 東北大学病院 仙台厚生病院 (独)宮城県立病院機構 宮城県立こども病院 東北薬科大学病院 横須賀共済病院 公立黒川病院 仙台市立病院 東京女子医科大学病院 東北公済病院 宮城厚生協会(坂総合病院) 仙台社会保険病院 イムス三芳総合病院 愛知医科大学病院 医療法人社団 誠善会新東京病院 医療法人社団保健会・谷津保健病院 吉祥寺病院 国見台病院 国立国際医療研究センター-国府台病院 国立病院機構西多賀病院 国立病院機構仙台医療センター 榊原記念病院 山形大学医学部附属病院 手稲溪仁会病院 昭和大学藤ヶ丘病院 信州大学医学部附属病院 石巻赤十字病院 仙台オーブ病院 千葉西総合病院 相模原協同病院 大阪医科大学附属病院 大阪府立病院機構 東京大学病院 東大宮総合病院 日本医科大学病院 日本赤十字社医療センター 八戸市立市民病院 特別区 栗原市 松島町 白石市 福島市 栃木県

○主な進学先
 (独)国立病院機構仙台医療センター附属仙台看護助産学校 助産学科 聖路加看護大学大学院ウィメンズヘルス・助産学専攻 東北大学大学院医学研究科

事業構想学部

金融・保険業 23%
情報通信業 17%
進学 10%
卸売・小売業 16%
製造業 7%
サービス業 9%
公務 3%
宿泊業・飲食サービス業 3%
教育・学習支援業 3%

○主な進学先
 宮城大学大学院 青山学院大学大学院(MBAコース)

事業計画学科

○主な就職先
 株式会社 伊オンスーパーセンター 株式会社 カメイ 株式会社 NTTデータ東北 株式会社 マクロミル 株式会社 ゆうちょ銀行 株式会社 仙台銀行 公立大学法人宮城大学 NTTコミュニケーションズ株式会社 アイリスオーヤマ株式会社 アイオンリアル株式会社 ココ東北販売株式会社 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 株式会社 エフエム仙台 株式会社 かんぽ生命 株式会社 ファーストリテイリング 株式会社 ソニーホールディングス 株式会社 岡村製作所 株式会社 傑楽天 株式会社 三井住友銀行 株式会社 七十七カード 株式会社 島島津製作所 株式会社 東日本放送 株式会社 北都銀行 宮城県商工会連合会 国税専門官 三井住友海上保険株式会社 三井住友信託銀行株式会社 三菱UFJニコス株式会社 資生堂プロフェッショナル株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 東日本電信電話株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 東北電力株式会社 日本郵便株式会社 富士重工株式会社 野口観光株式会社 野村證券株式会社

○主な進学先
 宮城大学大学院 東北大学大学院工学研究科

デザイン情報学科

情報通信業 23%
建設業 12%
金融・保険業 11%
進学 18%
卸売・小売業 10%
製造業 7%
サービス業 3%
複合サービス業 2%
宿泊業・飲食サービス業 2%
学術研究・専門技術サービス業 9%

○主な就職先
 株式会社 デザイン情報コース
 株式会社 七十七銀行 NECソフトウェア東北株式会社 ココ東北販売株式会社 株式会社 傑セガ 株式会社 傑損保ジャパン株式会社 日立東日本ソリューションズ 第一生命保険株式会社 日本生命保険相互会社

○主な進学先
 株式会社 大和ハウス工業株式会社 アイリスオーヤマ株式会社 株式会社 NTTファシリティーズ東北 株式会社 一条工務店仙台株式会社 株式会社 七十七カード 株式会社 北洲 清水建設株式会社 東北支店 株式会社 積水ハウス株式会社

○主な進学先
 株式会社 グリー株式会社 テクノマインド株式会社 ヤフー株式会社 ユニシステム株式会社 株式会社 JR東日本情報システム 株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社 東北NSソリューションズ株式会社 株式会社 東北インフォメーション・システムズ株式会社

食産業界学部

卸売・小売業 22%
製造業 11%
宿泊業・飲食サービス業 16%
進学 11%
農林水産業 14%
複合サービス事業 9%
公務 5%
その他 5%

○主な就職先
 アドバンテック株式会社 株式会社 アワーズ イトキン株式会社 株式会社 伊藤チェーン 井和興株式会社 株式会社 コーポレーション 株式会社 傑カルラ 株式会社 関東日本フード株式会社 株式会社 傑幸栄苑 株式会社 南後藤農場 株式会社 サイゼリヤ JAあさひな JAみどりの JAみやぎ仙南 株式会社 傑ジョイス 全国共済農業協同組合連合会 宮城県本部 株式会社 仙台銀行 大和フーズ株式会社 タカ食品工業株式会社 タカ食品工業株式会社 株式会社 たかはたファーム 株式会社 東京サラヤ株式会社 株式会社 東北労働金庫 株式会社 ニチレイフーズ白石工場 日東ベスト株式会社 株式会社 日茶商事株式会社 株式会社 傑早坂園芸 株式会社 傑藤商事(石窯パン工房ばーすてい) ホームマック株式会社 株式会社 傑ホットランド みやぎ生活協同組合 宮城県 傑USEN 株式会社 ニューエス 株式会社 リカーマウンテン 株式会社 傑渡辺探種場

○主な進学先
 九州大学大学院 宮城大学大学院 東北大学大学院 University of Leeds

環境システム学科

公務 34%
製造業 11%
進学 26%
複合サービス事業 6%
卸売・小売業 3%
不動産業 3%
その他 3%

○主な就職先
 株式会社 傑泉緑化 株式会社 傑奥羽木工所 くまざわ書店グループ 株式会社 傑クロスカンパニー 株式会社 傑弘進ゴム株式会社 株式会社 傑サトー技建 JAみどりの JAみやぎ仙南 株式会社 傑静岡市 株式会社 傑七十七銀行 株式会社 仙台市 株式会社 傑東北農政局(国家一般職) 株式会社 福島県 株式会社 傑フジパン株式会社 株式会社 傑島島津 株式会社 傑水戸証券 株式会社 傑宮城県 株式会社 傑レオリス21

○主な進学先
 宮城大学大学院 東北大学大学院

ファームビジネス学科

○主な就職先
 株式会社 アドバンテック株式会社 株式会社 アワーズ イトキン株式会社 株式会社 伊藤チェーン 井和興株式会社 株式会社 コーポレーション 株式会社 傑カルラ 株式会社 関東日本フード株式会社 株式会社 傑幸栄苑 株式会社 南後藤農場 株式会社 サイゼリヤ JAあさひな JAみどりの JAみやぎ仙南 株式会社 傑ジョイス 全国共済農業協同組合連合会 宮城県本部 株式会社 仙台銀行 大和フーズ株式会社 タカ食品工業株式会社 タカ食品工業株式会社 株式会社 たかはたファーム 株式会社 東京サラヤ株式会社 株式会社 東北労働金庫 株式会社 ニチレイフーズ白石工場 日東ベスト株式会社 株式会社 日茶商事株式会社 株式会社 傑早坂園芸 株式会社 傑藤商事(石窯パン工房ばーすてい) ホームマック株式会社 株式会社 傑ホットランド みやぎ生活協同組合 宮城県 傑USEN 株式会社 ニューエス 株式会社 リカーマウンテン 株式会社 傑渡辺探種場

○主な進学先
 九州大学大学院 宮城大学大学院 東北大学大学院 University of Leeds

フードビジネス学科

○主な就職先
 株式会社 傑青木商店 アデコ株式会社 株式会社 アンティストラ 株式会社 井ケ田製茶株式会社 株式会社 伊藤ハム株式会社 いわて生活協同組合 株式会社 NHC 株式会社 オオノ 株式会社 オリエンタルフーズ オリジン東秀株式会社 株式会社 傑匠匠三全 株式会社 傑鐘崎 株式会社 傑日本くみあい飼料株式会社 株式会社 傑久世 株式会社 傑グリーンハウス 株式会社 傑蔵王酪農センター JA全農みやぎ 株式会社 傑静岡県労働金庫 株式会社 傑シマヤ 株式会社 傑城北通工株式会社 株式会社 傑生活協同組合コープあきた 株式会社 傑仙台水産株式会社 株式会社 傑仙台三越 株式会社 傑太子食品工業株式会社 タカ食品工業株式会社 株式会社 たかはたファーム 株式会社 東京サラヤ株式会社 株式会社 東北労働金庫 株式会社 ニチレイフーズ白石工場 日東ベスト株式会社 株式会社 傑日本アクセス 株式会社 傑日本水産株式会社 株式会社 傑ブルボン 株式会社 傑ホタルクラ東京 honu加藤珈琲店株式会社 マックスバリュ南東北株式会社 丸源飲料工業株式会社 株式会社 傑水戸京成百貨店 ミニストップ株式会社 (独)宮城県立病院機構 みやぎ生活協同組合 株式会社 傑モランボン モロゾフ株式会社 株式会社 傑ルネサンス レバレジーズ株式会社 株式会社 傑ローソン 株式会社 傑ロック・フィールド

○主な進学先
 宮城大学大学院

大学初の試みとして
行われた蔵王での合宿
「新入生交流会」の二日
間をご紹介します。

宮城大学では、5月1日・2日、初の試みとして「新入生交流会」を実施しました。この行事は、新入生が早い段階で、大学生活を共にする新入生同士、先輩、教職員等と良好な関係を築くとともに、大学への理解を深め、充実した大学生活を送ってもらうことを目的に企画したものです。

交流会の活動は、自然に囲まれた蔵王町内のホテルに泊まり込みで行われました。

1日目は、蔵王町内の産業施設・福祉施設を見学し、蔵王ハートランドで羊・ヤギに囲まれながら昼食をとり、ホテルへと向かいました。

ホテルに到着後、蔵王町長から歓迎のごあいさつと町の観光PRキャラクター『ざおうさま』の歓迎のダンスが披露され、学生から笑いと歓声が挙がりました。同行した西垣学長の講話では、自身の学生時代の体験や読書の重要性など貴重なお話を伺い、その後、今回の交流会のメインイベント「ビプリオバトル」の開催となりました。

「ビプリオバトル」とは、自分が読んで面白いと思った本を紹介し合い、一番読みたいと思ふ本に投票して『チャンプ本』を決めるコミュニケーションゲームです。新入生が読書習慣を身につけ、人間力

盛り上がり、終了する頃には学生同士すっかり打ち解けていました。

2日目は、えぼし高原スキー場で散策し、昼食・パーベキューで2日間の活動を振り返りながら、全日程を終了しました。

この交流会を通して、キャンパスの垣根を越えた宮城大生としての一体感が深まったことが学生の様子から、伺え、交流会後は、学部を超えた交流が多く見られるように感じています。これからも、宮城大生が充実した学生生活を送ってもらえるよう、支援していきたいと考えます。

(なお、ビプリオバトルの決勝戦は、夏のオープンキャンパスで開催したところですよ。)

(学務課 萩野 俊輔)

班活動のメンバーは今でも友達



1泊2日の合宿は、本当に愉快で有意義な時間でした。特に、ビプリオバトルや班活動を通して、多くの人と友人になれたことが一番思い出に残っています。

ビプリオバトルでは、お互いの読書の趣向を知ることが出来ました。それにより、その人の人間性にも触れたような気がしました。班活動では、蔵王の山々を歩いたり、パーベキューをしたりしました。その時のメンバーとは今

交流会

の感を深める



2日目 みやぎ蔵王えぼしスキー場



ビプリオバトル準決勝



蔵王さま



羊とヤギに囲まれて昼食=1日目、蔵王ハートランド

絆

在校生、卒業生、保護者、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。10回目の今回は、現在本会の副会長を務められている菊地さんにご登場いただきました。父として役員として、大学へ足を運ぶことの多い菊地さんの目に、学生はどのように映ったのでしょうか。

チャレンジ

後援会副会長 菊地 正

私の学生時代は学生運動の勢いが収まりかけていた時でしたが、それでも、成田闘争はまった中で、入学式もなかったし、教授が学生の前に引つ張り出されて三角帽子をかぶせられ、学内を引き回されていました。私の周りにも足を突っ込んでいる者も多かったのですが、卒業する時にはすっかり足を洗ったものですが、名のある大企業にちやっかり就職していたものです。

ただ、今さらながら考えてみると、世の中の不合理やら何やらに対して潔く挑めた時代だったのかもしれない。そこには、途方もないものともわかつつ、背伸びしたり、がむしゃらに突撃したりというチャレンジがあったように思います。

ひるがえって、今の学生たちを感覚的に観ていると、ほとんどのことがごく手の届く範囲にあって、そのことによつて「欲」とか「探求心」、「冒険心」などが表に出てこない傾向にあるように思えます。



宮城大学の学生さんたちを見ていても、見るからに

「変な子」は見あたらず、妙に、まとまっちゃってる」感を覚えてしまうのは私だけでしょうか。例えば、大学祭でも、「自分たちで楽しんでいる」という雰囲気があつて、それはそれでいいのかもしれませんが、外に向かつて自分たちの考えややっていることをアピールする、あるいは大学自体をアピールするという気概が感じられないのがちょっと残念。

さて、歳のせいか昔を懐かしむ愚痴のような話になってしまいましたが、私が言いたいことは宮城大生への「期待」です。

宮城大学は歴史も浅く、規模的にもこじんまりしてはいるものの、大学自体は学長が先頭に立って「生き残り」をかけてのチャレンジを仕掛けています。学生のみならず、この大学のチャレンジに是非「便乗」してほしい。例えば、せっかく大学が海外でのビジネスインターンや留学のチャンスを創ってくれているのだから、そう言ったチャンスを活かして、あるいは自分で見つけた何かでもいい、キャンパスから飛び出してどんどんチャレンジして欲しいと思います。せっかくのかけがえのない4年間を淡々とした学業だけに終わらせて欲しくないのです。

H25 MYU キャンパスカレンダー

4月	
1日(月)	春季休業(～7日)
3日(水)	入学式
8日(月)	前期授業開始
5月	
1日(水)	開学記念日(休業日)
19日(日)	春のオープンキャンパス(大和)
26日(日)	春のオープンキャンパス(太白)
6月	
1日(土)	後援会・大学共催事業 「MYUサポーターズデイ」(大和)
3日(月)	宮城認定看護師スクール入学式
8日(土)	後援会、大学共催事業 「MYUサポーターズデイ」(太白)
29日(土)	入試日(大学院 大和、食産編入 太白)
7月	
21日(日)	夏のオープンキャンパス(大和)
28日(日)	夏のオープンキャンパス(太白)
8月	
3日(土)	アカデミックインターンシップ(～21日)
6日(火)	夏季休業開始(～9/29)
10日(土)	入試日(大学院 太白)
9月	
13日(金)	入試日(大学院・看護編入 大和)
24日(火)	入試日(AO 大和)
26日(木)	入試日(大学院 大和)
30日(月)	後期授業開始
10月	
5日(土)	大学祭(～6日 太白)
6日(日)	ミニオープンキャンパス(太白)
13日(日)	大学祭(～14日 大和)
14日(月)	後援会主催事業「白幡洋一氏講演会」 ミニオープンキャンパス(大和)
17日(木)	入試日(AO大和)
11月	
23日(土)	入試日(特別選抜 大和・太白)
12月	
13日(金)	宮城認定看護師スクール修了式
14日(土)	入試日(特別選抜 大和・太白)
25日(水)	冬季休業開始(～1/5)

H26年1月

18日(土)	センター試験(～19日 大和)
2月	
8日(土)	入試日(特別選抜・大学院 大和・太白)
25日(火)	入試日(一般選抜前期 大和・太白)
3月	
12日(水)	入試日(一般選抜後期 大和・太白)
19日(水)	卒業式・学位授与式

を養うきっかけづくりがねらいです。始めに、3学部混合格の35グループでグループ予選を行い、35人による準決勝で決勝進出者12人を決定しました。予選・準決勝ともに予想以上に

大学に関する視野が 広がった2日間



5月1・2日に
行われた新入生
交流会に参加し、
学部学科の枠を
超えて多くの新入生と知り合うこ
とができました。私たち少数派の編
入生も、フィールドワークやピリオ
バトルなどを通して、さまざまな学
生と交流を深めることができ、大学
に関する視野も広がったように感じ
ています。このような行事を企画し
てくださり、この場をお借りして、御
礼申し上げます。ありがとうございます。

(看護学科3年 内田尚子)

新入生交

宮城大生として 一体

ピリオバトル 決勝に進出して



今回のピリオ
バトルで、私は「き
らめくジャンクフ
ード」という本を紹
介しました。これは、筆者野中終さ
んの、四十八種の「ジャンクフード」
の思い出が綴られているエッセイです。
この本には、毎日の「食べる」という
当たり前のことに、楽しさや彩りを
与えてくれる魅力があります。発表
後「とても楽しそうに話していたの
がよかった」と多くの方に言ってもら
えました。「ジャンク」は「がらくた」
じゃない！筆者の語る「ジャンクフ
ード」の魅力を、私の発表を通して皆
さん感じてもらえたら嬉しいです。

(フードビジネス学科1年 丹野かおり)

でも交流が続い
ています。
出発前は不安
だらけの合宿で
したが、蓋を開け
ればとても楽し
い2日間でした。
(事業計画学科
1年 浅野有汰)

MYU FES 2013

—太白 10月5・6日、大和 10月13・14日開催—

10月開催の大学祭に向け、両キャンパス大学祭実行委員の活動がスタートしています。各キャンパス実行委員長のお二人に今年の大学祭の目玉と実行委員の意気込みを聞きました。



76人で頑張ります！=太白キャンパス大学祭実行委員

太白

太白は食の宝庫

今年の大学祭のテーマは「EATRESURE(イートレジャー)」です。これは、太白キャンパス全体を食の宝庫と捉えて、来場いただいた方々に、その中から自分にとっての宝だと思える食べ物を見つけてもらいたいという願いを込めたものです。

実行委員は、2年生33人、1年生43人の総勢76人で、現在、大学祭に出店を希望する団体の募集や、企業への広告依頼など営業活動を中心に活動を行っています。

イベントでは、ミスコンやカラオケ大会、体育館で体を使って楽しむアドベンチャーゲーム(仮)などを企画していますので、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけたらと思います。

今後も大学祭が盛り上がるように一生懸命活動に励んでいきます。たくさんの皆さまのご来場をお待ちしております。
(太白キャンパス大学祭委員長ファームビジネス学科 2年 佐々木 雄弥)



現在109人で活動中=Wajimaキャンパス大学祭実行委員

大和

今年のテーマは 「Travel(トラベル)」

今年のテーマは「Travel(トラベル)」です。このテーマには、「大学祭に来ることで普段の日常から離れ、旅にきたような楽しい思い出を作ろう」という意味が込められています。

今年の実行委員は、2年生55人、1年生54人の総勢109人です。現在は、大学祭当日に行われる企画を考案したり、出店や展示を希望する団体を募集したり、活動資金を得るための営業活動を行ったりしています。

大学祭では、昨年の他大学との交流(Miyagi-UNIFES)と太白キャンパスとの交流を継続し、今年にはさらに地域の方々との交流も深めていこうと考えています。また、例年ない面白い企画や美味しい出店も予定しています。

「Travel」の名にふさわしい「旅」を提供できるよう、実行委員一同日々準備を進めています。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、後援会のご支援に心から感謝申し上げます。

(大和キャンパス大学祭実行委員長事業計画学科 2年 佐々木 翼)

「教員からの一言」



夢の種

食産業学部教授 井上 達志

宮城大学の大学案内の見開きには、「君の夢を実現する大学をめざして」と大きく書かれており、学長以下教職員はそれを実現すべく奮闘しています。そこで、「君の夢はなんですか」と問いかけるのですが、心が沸き上がるような夢を語ってくれることは少ないのです。

彼らは日本全体が沈滞している時代に生まれ育ち、不景気な話題ばかりに取り囲まれ、なかなか夢を描きにくい時代を過ごしてきているのもしれません。夢を追うばかりでは、現実から置いていかれるのでしょうか。しかし、現実だけを見つめていると、世の中を大きく動かすようなイノベーションは生まれてこないでしょう。夢と現実とをうまく折り合いをつけてゆかねばなりません。学生達にはもっと夢があってよいと思います。

夢と現実との割合は人生を経るとともに変わります。若い時の夢は、やがてかつての半分になって、人生の終焉では現実のみが残るのです。停滞している世の中だからこそ、輝くような夢が必要であって、それは若い人達の創造力と、人生という時間や希望というエネルギーによって生み出されて行かねばなりません。

大学での教育はひよっとすると学生達に夢の種を蒔くことから始まるのかもしれませんが。

保健室と学生相談室の新しい「顔」
平根先生と板倉先生をご紹介します。

保健室から

一心と体の健康づくりのお手伝いを

今年の4月から保健指導員として大和キャンパス保健室に勤務しております平根です。どうぞよろしくお願い致します。

(大和キャンパス保健指導員
平根 紀美恵)

保健室では、4月に実施した定期健康診断結果につい

て校医の先生の指導を受け、有所見者の受診勧奨および保健指導をおこなっております。今年度は約120人の方に保健室への呼び出し票(ピンクの色紙)を個人の結果表と一緒に同封させていただきましたが、6月末現在、来室者は5割弱となっております。一方で、初めての一人暮らし、学業とアルバイト・サークル等の課外活動との両立による不規則な生活や欠食・栄養の偏り、また睡眠不足が原因と考えられる体調不良により保健室で休養をとる学生が増えています。

保健室では一緒に生活習慣を振り返りながら、自己管理につながるような保健指導をしていくとともに、学生の皆さんが目標の達成や夢の実現に近づけるよう、教職員の方々と共に心と体の健康づくりのお手伝いをさせていただきます。

学生相談室から

—家族支援を専門としています



今年度からスクールカウンセラーとして勤務しています臨床心理士の板倉憲政と申します。

これまで私は、中学校でスクールカウンセラーをしたり、ハローワーク等で若年者の心理支援をおこなったり、精神保健福祉センターで引きこもりのお子さんや保護者の方のカウンセリングをしてきました。特に、不登校・引きこもりの状態を改善していく際、家族支援は不可欠です。問題を「親の育て方が原因でひきこもりになった」と考えるのではなく、「ひきこもりが続いたことで親子関係・家族関係が悪化している」という視点を持つことが大切です。そこで、「過去」に問題を置くのではなく、「現在」のお子さんへの関わり方、他の家族との関係、相談機関の促し方についての支援が必要になります。

私が専門とする家族療法は、不登校・ひきこもりのお子さん本人が面接に来談しなくても、保護者の方を通して援助をすすめる治療理論です。お子さんのことで何か気になることがありましたらお気軽に学生相談室をご利用ください。

(宮城大学学生相談室カウンセラー 板倉 憲政)

宮城大学地域連携センターからのお知らせ

◆『第九』コンサートを開催します

宮城大学では、地域コミュニティの形成に寄与することを目的とし、12月に第九コンサートを開催致します。地域の皆さまや本学学生・教職員による合唱団を結成し、復興への思いや、今年一年を締めくくる意味を込めてベートーヴェンの『第九』を演奏するもので、今年で3回目となります。

日 時:平成25年12月1日(日)午後2時開演

会 場:宮城大学大和キャンパス

本部棟 大階段特設ステージ

入場料:無料

お申込み:不要(当日お越し下さい)

演奏曲目:ベートーヴェン作曲 交響曲第9番

二短調 作品125“合唱付”

指 揮:渡部 勝彦

ソリスト:ソプラノ/中村優子、アルト/高山圭子、
テノール/松尾英章、バリトン/高橋正典

管弦楽:宮城大学管弦楽団ほか

合 唱:第九を歌って元気になろう!合唱団

問合せ先:宮城大学地域連携センター 地域振興事業部

TEL/022-377-8319

編集
後記

今年度、新たに中村美奈さんが会長に就任しました。本会初の女性会長です。学生をサポートするにあたり、これまでの力強さに母ならではの細やかな視点が加わりました。会報で本会の活動や大学の様子など、できるだけ多くの情報をご紹介できるよう心がけて参ります。会員の皆さまのご意見ご感想をお寄せください。(S・I)